

平成24年度第1回大阪府立体育会館等 指定管理者評価委員会会議概要

〇 日 時：平成24年12月20日（木） 10：00～12：00

〇 場 所：大阪府立体育会館（第1会議室）

〇 出席状況：出席委員 4名 欠席委員 1名

（事務局）教育委員会 保健体育課 首席指導主事 1名、総括主査 2名、副主査 2名、
主事 1名

傍聴者 0名

1 開 会…事務局が開会宣言

2 あいさつ…大阪府教育委員会を代表して保健体育課首席指導主事があいさつ

3 委員の紹介…事務局が委員の照会

4 議 事

（1）報告事項

①施設利用者アンケート結果について

- ・資料1により、事務局が概要を説明

②平成23年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針について

- ・資料4により、事務局が概要を説明

＜質疑応答＞ △…委員 ◆…事務局

△ 漕艇センターの艇庫利用料金の変更前と変更後の差はどれぐらいあるのか。

◆ 条例改正で料金の見直ししているのは段階的にあげる、最初に1.25倍、2年目に1.5倍に指定管理者が決めることとなっている。現在は、1.5倍までにはなっていない。

△ アンケート実施の際、各施設のHPからリンクされた方が良いのでは。

（2）議題事項

①評価委員会の評価及び指摘、提言について

②今後のスケジュールについて

- ・資料に沿って、事務局が概要を説明

議題① 評価委員会の評価及び指摘、提言について

【体育会館】資料に沿って、事務局が概要を説明

- ・体育会館の施設概要の説明
- ・積極的なイベント誘致により利用者数の増加（100万人規模を目指す。）への取り組み。
- ・利用者数、収入は、H18年度に指定管理者導入後、最高の数値となっている。
- ・平成24年度指定管理運営業務評価票の説明＞※府と指定管理者の評価の違う点等の説明
- ・I－（3）－①：1000人以上のイベント件数、利用者数の増加。H18年度以降、最高値となっていることから、提案以上とし加点。
- ・I－（4）－②：昨年度指摘事項「教室利用増に向けてさらなる努力を期待する」計画より3割減。広報や取り組みの努力はされているが、利用者数は伸び悩んでいることから減点。
- ・I－（5）－②：昨年度指摘事項「点検記録簿を作成し施設設備の管理強化を徹底された

い」日常点検記録簿の作成、合同パトロールの実施により改善されていることから、評価どおりとしている。

- ・ I－(6)－②：収入確保策として、プロポ提案額を上回っていることから提案以上とし加点。
- ・ II－(2)－①：自主事業10教室は提案どおりだが、収入・参加者数ともに減少傾向。さらなる提案事項とまでは言えないことから減点。
- ・ III－(1)－①：プロポ提案より上回っていることから加点
- ・ III－(2)－①：人員体制がプロポ提案より増員しているとの評価であるが、イベント増加に伴っての人員配置のため、抜本的な運営体制の見直しを行ったわけではないことから減点。
- ・ III－(2)－③：昨年度指摘事項「業務マニュアルの整備安定的な運営に努められたい」業務マニュアルや異常事態要項等が設置により改善されていることから、評価どおりとしている。

<質疑応答>

- △ 利用者が増えたとのことですが、昨年度、大相撲は開催されたのですか？
- ◆ 昨年は開催されています。H22年度が未開催。
- △ 資料⑦の人件費の欄を見る限り、年々増加しており、人件費削減につながっていないようにみられる。
- ◆ H23年度にかかっていた人件費よりも、H22年度までにかかっていた人件費を削減するという意味。また、H22年度までの指定管理者とH23以降の指定管理者の人件費の計上方法が違う。H22年度までの人件費は委託料に一部積み上がっている。現指定管理者としては、人件費が増となっているが、全体としては減となっている。質問のとおり、提案に対しては増加している。ただし、イベント開催の増加に伴っての人員配置により、人件費の増加はやむを得ないと判断する。

<評価委員の評価結果>委員長より評価結果の報告

- ・ 府と評価委員の評価は同じ。
- ・ 指摘・提言なし。

【臨海スポーツセンター】資料に沿って、事務局が概要を説明

<平成23年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針の説明>

「府民・NPOとの協働の取組み」について、「プロポ提案と整合性を図られたい」との指摘提言であったが、現在、検討中であり未実施となっている。指定管理者には早期の実現をするよう指導している。

<平成24年度指定管理運営業務評価票の説明>※府と指定管理者の評価の違う点等の説明

- ・ I－(6)－②：H24年度のプロポ提案納付額は少額であるが、2.6倍となる納付額を予定としていることから、提案以上とし加点。
- ・ I－(7)－③：提案事項が未実施であることから減点。
- ・ II－(3)－①：研修等をテスト形式で実施とのことであるが、会社としての取組みであり、プライバシーマークの取得のためであることから創意工夫とまでは言え

ない。また、空きスペースを活用し、イベント内容や教室開催の様態を展示しているが、集客にまでつながっていないことから減点。

- ・Ⅲ一（１）－①：前項のⅠ一（６）－②と同様にプロポ提案以上とし加点
- ・Ⅲ一（２）－①：プロポ提案より人員配置増となっているが、内訳的に常勤が３減となり、非常勤が４増となっているため、一概に人員増とし提案以上との判断は難しいことから減点。

<質疑応答>

- △ プロポ提案の納付額より２．６倍とのことであるが、H23年度からH24年度の収入計画が減となっている。下げながら納付額が上がるということは、実績が出ていると思うが加算まではしなくて良いのでは。
- △ 光熱水費の支出を下げる努力をしている反面、広報に対してはもう少し力を入れた方が良いのかと思われる。この収支をみていると支出を抑えて利益を上げる経営努力をしているとみられるが、加算なしで良いと思われる。
府民・NPOとの協働の取組みについて、イベントのワンコインは開催しているのであれば、２点でも良いのかと思われる。
- ◆ ワンコインは利用促進のための施策であり、府民・NPOと協働しての取組みではない。昨年度の指摘事項でもあったことから、評価を厳しくしている。

<評価委員の評価結果>委員長より評価結果の報告

- ・Ⅰ一（６）－②及びⅢ一（１）－①における、評価点の変更を行う。
- ・指摘・提言話。

【漕艇センター】資料に沿って、事務局が概要を説明

<平成23年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針の説明>

「自主事業の取組み」について、「利用者数の増加に向けて、さらなる努力を期待する。」の指摘提言にあたって、HPのリニューアル、ニュースレターを随時更新。

マリス海洋スクール等の実施により、より多くの府民のための施設運営を図っている。

<平成24年度指定管理運営業務評価票の説明>※府と指定管理者の評価の違う点等の説明

- ・Ⅰ一（３）－②：トレーニングルーム等の有効活用の検討など前向きな取組みは見受けられるが、昨年度より利用者数が減少していることから減点。

<質疑応答>

- △ 決算状況を見ると、もう少し宣伝していただいで、自主事業にお金をかけて力を入れていただければ。修繕費も60万の予算で47万の支出ですが、トレーニングルームは、故障が多いとのことですが、平成23年度からわかっていることなので、何らかのことをしていただければよかったと思われる。自主事業、利用者増加の評価にかかってくると思われる。
- ◆ トレーニングルームに関しては、昨年度から検討はさせていただいていたが、施設自体が老朽化しており施設の修繕を優先にしている。
- △ 資料⑦決算状況の利用者見込数が空欄になっている。

◆ 補足資料に記載の 48,650 人が利用見込数。

△ 利用者の増加が、この施設の大きな課題となっている。評価委員の指摘提言の欄に、利用者の増加のため活性化などの意見を入れていただければ。

＜評価委員の評価結果＞委員長より、評価結果の報告

- ・ 府と評価委員の評価は同じ。
- ・ 指摘・提言：Ⅰ－（３）利用者数の増加に向けて、さらなる努力を期待する。

【門真スポーツセンター】資料に沿って、事務局が概要を説明

＜平成 23 年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針の説明＞

「施設整備、機能の活用」について、「パークアンドライドについて、プロポ提案との整合性を図る努力をされたい」の指摘提言にあたって、パークアンドライドを実施の可能性を含め市場調査、稼働状況の調査を開始。門真 SC の駐車代が高いが、イベント等で回転率を上げる取組みを考えることが正しいと判断し、具体的な数値を出すため調査していく。

＜平成 24 年度指定管理運営業務評価票の説明＞※府と指定管理者の評価の違う点等の説明

- ・ Ⅰ－（２）－②：プロポ提案と実施回数が未達であることから減点
- ・ Ⅰ－（３）－①：利用者全体でみると例年に比べ減となっていることから、利用者増の方策を検討されたいとすることから減点
- ・ Ⅰ－（４）－②：充足率の低い教室に関してのプログラムの見直しが必要であることから減点。
- ・ Ⅰ－（４）－③：パークアンドライドの事業採算性の判断を行い、代替策を講じる必要があることから減点。
- ・ Ⅰ－（５）－②：指定管理者は、昨年度の法定点検の実施を失念しており、反省を踏まえ 2 点としている。H24 年度の取組みとしては、法定点検を実施していることから加点している。
- ・ Ⅰ－（７）－①：府・公益事業への協力・取組みが適切になされていることから加点。
- ・ Ⅰ－（７）－②：支援センターの活用実績がないことから減点。
- ・ Ⅲ－（３）－②：オージースポーツ単体で見ると非常に財務的問題があるが、大阪ガスグループ全体でみた場合、概ね健全である。その他の管理者も概ね健全であるが、オージースポーツが抱える財務的なものを考慮し減点。

＜質疑応答＞

△ 指定管理者として、法定点検の実施を失念したことから、実施計画は見直したが、失念していた運用状況を評価に反映しているので、加点せず指定管理者の評価点でよいと思われる。

◆ 点検工程表やチェックリストを先方では作成しているみたいだが、所管課との相互にチェックするまではなっていない。今後は、点検実施の確認をするべきかもしれない。

△ 計画が的確に運用されているのかが、評価の基準となると思う。

△ 人件費、光熱水費は上がっている。利用者が減って、支出が増えるのは何故。

◆ 人件費が反映されていない部分があった。OGS の売上実績の増加に伴って労務費が上がった。イベント運営に高いスキルが必要なため、派遣会社に依頼することからパート

の労務費が上がった。

- △ もう少し利用者を増やす工夫があってもいいと思う。
- △ 入場者数が少なくなってきたから、駐車場収入でと考えず、施設を利用させていただくことで採算を合わせていくのがあるべき姿と思われる。

＜評価委員の評価結果＞委員長より、評価結果の報告

- ・ I－（5）－②の評価点を変更する。
- ・ 指摘・提言： I－（3）利用者増のための施策を検討すること。

議題② 今後のスケジュールについて

- ・ 資料に沿って、事務局が概要を説明
- ・ 評価結果及び対応方針を作成し、評価委員の確認後、HP 上において公表する。

5 閉会

- ・ 事務局が閉会宣言を行う。